

八代市社会福祉協議会 職員の不祥事について

このたび、本協議会が支援させていただいております、利用者の方の金銭を、本協議会の職員が着服するという事案が発生いたしました。

本協議会といたしましては、本件を令和4年8月24日に確認し、本日、公表させていただいたところでございます。

まずもって、大変なご迷惑をおかけした利用者の方に対しまして、心より深くお詫び申し上げる次第でございます。

また、本協議会の活動につきまして、これまでご理解とご協力をいただいております市民の皆様や関係する皆様に、多大なるご迷惑とご心配をお掛けしたことに対しまして、誠に申し訳なく、重ねてお詫び申し上げます。

本件は、高齢者の皆様や障がい者の皆様、社会的に弱い立場の方々を支援して行かなければならない社会福祉協議会におきまして、あってはならない事であり、支援を受けておられる利用者の皆様はもちろんのこと、市民の皆様や関係する皆様の信頼を著しく失墜させるものでございます。

これまで、不正行為の防止や業務における規律の確保等について、幾度となく注意を喚起してきたところでありますが、今回の事態を重く受け止め、二度と同じ過ちを犯さないよう、徹底した再発防止に向けまして、チェック体制等の更なる強化を図りますとともに、倫理やコンプライアンスにつきましても、職員への周知・教育を強化してまいります。

一度失った信頼を取り戻すことは容易ではありませんが、今後は、市民の皆様の信頼回復に向けまして、職員一丸となって取り組んでまいります。

令和4年9月16日

八代市社会福祉協議会
会長 中村博生